

平成26年度（第11回）女性農業委員活動推進シンポジウム 参加報告

平成27年3月3日（火）、東京都・浅草公会堂において、平成26年度（第11回）女性農業委員活動推進シンポジウムが開催されました。

全国より女性農業委員が参集し、450名ほどの参加がありました。その中で、山形県からは39名の方々の参加があり、全国で1番参加者が多い県となりました。

初めに、全国女性農業委員ネットワークの伊藤恵子会長よりご挨拶をいただきました。



挨拶の様子

講演として、かーちゃんのカ・プロジェクト協議会の渡邊とみ子代表より「福島の福幸（ふっこう）のために」と題して、これまでの取り組みや想いをお話いただきました。



講演の様子

続いて、全国農業会議所農地・組織対策部の山村部長より「改正農地法に基づく農地集積等の農業委員会の役割等について」及び独立行政法人農業者年金基金の中園理事長より「農業者のための公的年金制度＝「農業者年金」の魅力と加入推進に向けて＝」それぞれご説明をいただきました。

休憩後、「地域農業の振興に向けた女性農業委員の役割」を基本テーマとして活動事例報告・意見交換を行われました。活動報告者は全国より3名が選出され、本県の山形県女性農業委員の会より関口友子会長が「農村・地域が幸せになる女性農業委員の活動～農家のおせっかいおばさんの会～」と題して報告を行いました。また、福島県大熊町農業委員会の根本友子会長より「女性農業委員としての役割」について、福岡県女性農業委員の会の徳永順子副会長より「女性の柔軟さが農業を変える！～耕作放棄地の解消から市民とのネットワーク。そして食育へ～」についてご報告がありました。

女性農業委員活動推進シンポジウム

業の振興に向けた女性農業委員の役割～

「村・地域が幸せになる女性農業委員の活動」
～ 農家のおせっかいお婆さんの会 ～



山形県女性農業委員の会会長 関口友子
(酒田市農業委員会)





活動事例報告の様子

関口会長より庄内地区で行われている婚活支援活動の取り組みが報告され、会場の方々が真剣に話を聞かれていたことがとても印象的でした。また、活動について多くの質問やご意見をいただき、婚活支援活動が地域農業の振興に寄与する重要な取り組みであることを実感しました。

平成26年度 女性農業委員活動推進シンポジウム

～地域農業の振興に向けた女性農業委員の役割～



この度のシンポジウム参加を経て、これからの山形県女性農業委員の会の活動へ弾みがついた1日となりました。

ご参加の皆様、大変お疲れ様でございました。